

2023年1月16日

各位

三井住友信託銀行株式会社

トランジション・ローンの契約締結について
(大阪ガス株式会社)

三井住友信託銀行株式会社(取締役社長:大山 一也、以下「当社」)は、大阪ガス株式会社(代表取締役社長:藤原 正隆、以下「大阪ガス」)との間で、「トランジション・ローン」の融資契約(以下「本件」)を締結いたしました。

トランジション・ローンは、気候変動リスクへの対策を検討している企業が、低炭素社会への移行に向けて、長期的な戦略に則った CO₂削減の取組を行っている場合に、その取組を支援することを目的とした融資です。企業が気候変動関連のリスクに効果的に対処するために掲げている科学的根拠に基づくクライメート・トランジション戦略とガバナンスおよびビジネスモデルにおける環境面のマテリアリティを評価し、パリ協定の目標達成への活動を促進するものです。

本件は以下のフレームワーク等に関する準拠性および適合性について確認しています。

- 大阪ガスが策定する「Daigas グループ グリーン/トランジション・ファイナンス・フレームワーク」(※1)
- DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社による第三者評価(※2)
- ローン・マーケット・アソシエーション(以下「LMA」)(※3)などにより定められた「グリーンローン原則」
- 環境省により定められた「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン」
- 国際資本市場協会(以下「ICMA」)(※4)により定められた「クライメート・トランジション・ファイナンス・ハンドブック」
- 金融庁・経済産業省・環境省により定められた「クライメート・トランジション・ファイナンスに関する基本指針」

当社では、トランジション・ローンなどのサステナビリティに関するソリューションの提供により、SDGs 達成に資するお客さまのさまざまな事業活動を支援するとともに、お客さまの中長期的な企業価値の向上に貢献することを引き続き目指していきます。

<大阪ガスについて>

Daigas グループは、これまでの天然ガス利用拡大の取り組みに加えて、再生可能エネルギーや水素を利用したメタネーションなどによる都市ガス原料の脱炭素化、および再生可能エネルギー導入を軸とした電源の脱炭素化によって、2050年のカーボンニュートラル実現を目指しており、実現に向けた取り組みを示すために「カーボンニュートラルビジョン」を公表しています。

< 本件概要 >

企業名	大阪ガス株式会社
融資実行日	2023年1月16日
実行金額	100億円
資金使途	姫路天然ガス発電所(※5)

< 資金使途の概要 >

大阪ガスは、本件により調達した資金を、高効率ガス発電事業(姫路天然ガス発電所)に充当いたします。天然ガス(LNG)を利用したガスタービン入り口温度 1,650℃級の高効率ガスタービンと排熱回収ボイラを備えた発電設備であり、CO₂排出係数:0.307kg-CO₂/kW を達成する計画です。

(※1) Daigas グループ グリーン/トランジション・ファイナンス・フレームワークの詳細はこちら

https://www.osakagas.co.jp/company/press/pdf/220310_1_1.pdf

(※2) DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社による評価の詳細はこちら

Daigas グループ グリーン/トランジション・ファイナンス・フレームワーク セカンド・パーティ・オピニオン(マスター SPO): https://www.osakagas.co.jp/company/press/pdf/220801_1_1.pdf

(※3) ローン・マーケット・アソシエーション(LMA)

欧州、中東、アフリカのシンジケートローン市場の流動性、効率性、透明性を改善することを目的とした協会であり、60ヶ国以上に属する700以上の機関が加盟しています。

(※4) 国際資本市場協会(ICMA)

スイスに本部を置く(1969年設立以来チューリヒ)国際団体であり、世界60カ国の発行体、発行市場・流通市場取引仲介業者、アセット・マネージャー、投資家、資本市場インフラ運営者等500以上の会員から構成されています。

(※5) 姫路天然ガス発電所に関するプレスリリースはこちら

https://www.osakagas.co.jp/company/press/pr_2019/1282494_40360.html

以上